

場 所		分 類		被ばく低減対策好事例集			
原子炉建屋内	R B	Z	5			1	時間
タービン建屋内	T B					2	距離
R ZONE	R					3	遮へい
Y ZONE	Y					4	線源の除去
G ZONE	G					7	⑤ 遠隔、ポット化
その他	②	6	汚染拡大防止			番号	02-09
()		⑦	その他				

内 容	個人被ばく線量の遠隔監視システム			
作業場所	1F構内高線量エリア			
概 略	高線量エリアで作業を行う作業員の被ばく線量について、リアルタイムで遠隔監視可能なシステムを活用している。			
評 価 (定性・定量)	効 果		対策前	対策後
		被ばく線量(mSv)	—	—
		人工数(人日)	—	—
事例詳細				

■概要説明

個人被ばく線量の遠隔監視システム（リモートモニタリングシステム）とは、作業員に線量計と線量表示器を携帯させ、監視室のモニタに測定値をリアルタイムで伝送する装置である。また、作業場所にカメラを設置し、作業員に音声通話装置を装着することにより、監視室より現場の映像を確認しながら作業指示を出すこともできる。

■効果

- ・作業員一人ひとりの被ばく線量と作業場所の線量率の遠隔監視が可能であるため、被ばく線量の確認や線量率測定のために作業を行っている高線量エリアへその都度入域する必要がなくなり、放射線管理員の被ばくを減らすことができる。
- ・作業員が携帯する線量表示器に、被ばく線量と作業場所の線量率が表示されるため、作業員もこれらの値を確認しながら作業が可能であり、線量率の変動などリアルタイムに状況を把握することができる。
- ・作業監視者と作業員が共に、被ばく線量と作業場所の線量率を把握できるため、想定以上の被ばくや、高線量エリアへの立入を未然に防ぐことができる。

【 構成 】

線量計 (測定器)

線量表示器 (線量計の測定値を表示)

作業場所の線量率

作業員一人ひとりの被ばく線量

状況	ID	番号	名前	線量率	被ばく線量	経過時間
検出	05	00103020	DISP1-2	0.00 [μSv/h]	0.01 [mSv]	0%
検出	05	00103024	DISP2-2	0.00 [μSv/h]	0%	0%
検出	05	00103026	DISP3-2	0.00 [μSv/h]	0%	0%
検出	05	00103027	DISP4-2	0.00 [μSv/h]	0%	0%
検出	05	00103028	DISP5-2	0.00 [μSv/h]	0%	0%
検出	05	00103029	DISP6-2	0.00 [μSv/h]	0%	0%
検出	05	00103030	DISP7-2	0.00 [μSv/h]	0%	0%
検出	05	00103032	DISP8-2	0.00 [μSv/h]	0%	0%
検出	05	00103034	COM1-3	0.00 [μSv/h]	0%	0%
検出	05	00103035	COM2-3	0.00 [μSv/h]	0%	0%